

令和4年度第2回高梁市在宅医療介護連携推進協議会議事録

- <出席委員> 仲田会長、西副会長、草野副会長、笹川委員、磯村委員、原田委員、大久保委員、佐藤委員、竹崎委員、平田委員、細川委員、内田委員
- <WEB参加> 鶴見副会長、野村医院、笹井委員
- <欠席委員> 中田委員

1. 開会

事務局：今日はWEBで3名、鶴見副会長、野村委員、笹井委員がご参加いただいております。よろしくお願いいたします。開会にあたりまして仲田会長にご挨拶をお願いいたします。

2. あいさつ

仲田会長：皆さんこんばんは。今日は令和4年度第2回高梁市在宅医療・介護連携推進協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。年度末で皆さんお忙しいとは思いますが、本当によくお集まりいただきましてありがとうございます。今年度はずっと続いておりますコロナ禍の様子を見ながら人と人がだんだんと直接交流することが年度末に従って増えてくるそういった1年であったと思います。そういった中で2月に医療・介護市民公開講座を高梁総合文化会館で開くことができたことは大きなことだったと感じております。さらに本日もご出席いただいておりますが、WEBの参加がだいぶ定着しております。今まで忙しくてこういった会議に参加できなかった方が参加できているということで意義のある変化ではなかいかなという風に考えております。介護・医療というのは人と人が交わることが基本になることですので、交流が元のように活発化してくることを祈っております。本日もご協議いただくのは、今年度の事業の取り組みと次年度に向けての課題と方向性ということについて、皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。その前に医療・介護システムの新しいもの話があるようですので皆様にご協議いただく時間が普段より少し短くなるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

3. 新たな医療・介護の連携システムについて

事務局：ありがとうございました。続きまして、新たな医療・介護連携システムについて提案させていただきます。現在晴れやかネットを通じて、医療・介護の連携システムであるケアキャビネットやまぼうしを活用して多職種で連携を図っていただいているところです。ご承知のとおりこの3月末をもって晴れやかネットの運用が終了されますが、ケアキャビネットにつきましては、提供元である両備システムズへ利用申し込みをすることで来年度以降も継続して利用可能となっております。しかしながら、ケアキャビネットの利用件数は伸び悩んでいるところです。市としましてもICTを活用した多職種間の連携強化、業務の効率化は必須であると考えております。そこで今日は新たな医療・介護連携システム及び地域ネットワーク構築の検討の足掛かりとしまして、ラインワークスを活用した連携システムについてご説明をいただこうと思います。それではファイリンクプラス、北村様よろしくお願いいたします。

※ファイリンクプラス 北村氏

ラインワークスを活用した医療・介護連携システムについて説明

事務局：ありがとうございました。ファイリンクプラスの提供する機能について説明いただきましたが、何かご意見とかご質問等ございませんでしょうか。

仲田会長：初めて聞かせていただいたのですが、1IDあたりいくらかかるのですか。

北村氏：弊社算出の運用費なんですが、1 ID発行毎に月々1,000円という形をとらせていただいております。

契約は1年ごとになりますので年間分という形でご提示をさせていただきます。

仲田会長：ラインワークスで何ができるのかという点。音声通話、ビデオ通話が最大200とあるんですが、これはIDを持っている人が200人同時に入れるということですか。

北村氏：そうです。イメージで言うとラインのグループ通話が200名まで参加できますという形になります。当然ID取得者しか当社のシステムは運用できませんから、例えば200以下であれば全員でオンライン会議で使えます。

仲田会長：私がIDを持ちましたら、スマホとパソコンとタブレットで3つ、そのIDで同じ値段で使えるという意味ですか。

北村氏：おっしゃるとおりです。ID発行料金になりますのでデバイスを何台使っても1ID分になります。

事務局：高梁市でどのくらい使えるかということを実務者も含めて検証したいということで、来年度20IDの取得を予定しておりますので、20事業所で使用できる予定と考えております

北村氏：本来の効果は地域全体の事業者様が入れることによって、今後の緊急用ツールであったり、日々の活用に生かされるものだと提案をさせていただいております。いったんは試験的にお話をいただいておりますので、そういった運用でお手伝いさせていただければと思っております

仲田会長：ID1つで別のところでタブレット操作しながら、パソコンで同時操作しても大丈夫なんでしょうか。

北村氏：大丈夫です。

仲田会長：私ではない人が操作してもわからないってことですね。

北村氏：デバイスの際は「このIDアドレスで同期しました」というお知らせが自分のIDに来たり、誰が入力しようとすぐにトークに反映されます。トークが同期するので、この人はこういうやり取りを別でしていたんだということは認識いただけるものだと思います。

仲田会長：1つのIDで複数のタブレットとかスマホとかで例えば10人の人が別々の場所で使っていても問題ないんですか。

北村氏：本来は1ケアマネジャー様は個別にIDを配らせていただいております。訪問看護ステーション様とかデイサービス様とかは事業所で1IDを取得いただいているところが多いです。訪問看護ステーションは看護師が何人いても部署の代表メールみたいに対応いただいている場合が基本となっています。高梁市でカテゴリーごとに全部のアドレス帳を弊社で前もって構築しておきますので、そのID発行をさせていただき、このアドレス内でしか使えないクローズ型になりますので誤送信や公開はないという形になります。

仲田会長：ソフトをダウンロードするのは有料ですか。

北村氏：デバイスがアップル製品であればアップルストアから無料のダウンロードができます。タブレットも同様です。グーグルのプレイストアもネットからアプリを導入いただいて、そこにID、パスワードを決めて打ち込むだけという形になります

仲田会長：介護事業所やケアマネさん方が市役所と書類をやり取りすることも、これで点数を取っていいんですか？

北村氏：やり取りの幅がわかりませんが、今メール等でやり取りをしていて点数がとれているのであれば、通信手段のことなので、ラインワークスでやり取りしても一緒という形になるかと思えます。ファックスなのか電話なのか、ラインワークスなのかみたいなことだと思います。

佐藤委員：WEB会議をする時に点数はつくんですけど、通信する基準はセキュリティが担保されているものでないと点数がとれません。それはこれで賄えているという認識でしょうか。

仲田会長：クローズだったら公的な書類を普段は手持ちで行くから点数がとれるけれど、あるいはファックスで行くからこれはセキュリティが高いからオクケーというもののか。

佐藤氏：運用をするうえでこの中で個人情報の書類をやり取りするかどうかというのは、たぶんまた検討していないといけないと思いますが、例えばこの場でカンファレンスするとするときに、WEB会議とすると点数の基準は満たしている。ただこの中で個人情報のやり取りをしていいかどうかというのはまたこれからの検討になってくると思います。

仲田会長：意見書等作成料をいただけるものは、郵便かファックスか手持ちになるのか。

佐藤委員：たぶん個人情報をやり取りするからダメとするかは決めていく必要があるのではないかと。

事務局：そのあたりの運用ルールは考えていく必要があると思います。このシステム自体は保険者もぜひ皆さんと使っていきたいということなので一緒に考えていくことができると思います。

鶴見副会長：神戸ではそういったWEB上の会議でコストをとっているのか。

北村氏：その辺りの個々の詳しい情報は入っていないです。1対1のカンファレンス面会、担当者会議等で一昨年からオンライン化ということになっていきますので、そういった場面で使われたり、医療系ではオンライン診療が加算に上がるということは聞いたことがございます。

鶴見副会長：ではオンライン診療も会議もこのシステムでオッケーということですね。

北村氏：個人情報については双方法人規程等でしてくださいというお願いをしています。介護業界は提供表のやり取りをしています、サーバー自体は強固ですが、簡単なルール作りは必要と思われるかと。

4. 協 議 事 項

(1) 今年度の事業の取組みについて

仲田会長：それでは協議事項に移らせていただきます。協議事項(1)の今年度の事業の取組みについて事務局よりお願いします

事務局説明

※実務者部会実施事業について、佐藤委員より補足

※高梁かngoねんと委託事業について、細川委員より補足

仲田会長：ありがとうございました。ただいまの今年度の事業の取組みについてご意見とかご質問がございましたらよろしくお願ひいたします。市民公開講座楽しかったです。西先生に代わって出ささせていただき演技せずにやっちゃった感じです。寒かったという感想がありましたが、暖房費の値上がり等も影響しているのでしょうか。何かご意見をお願いします。

笹川委員：12月と2月に研修会をして、薬局に問い合わせなどがあつたようですが少ない現状です。もっと医療に貢献していきたいと思っている薬局も多いですし、頼っていただきたいと思っている薬局も多いのでまた気軽にお声がけいただければと思います。

仲田会長：実務者部会はコロナ禍で大変な中、皆さんよく頑張っているなと思っています。高梁かngoねんとはいかがですか。

細川委員：例年同様の事業を引き続き行っていますが、感染対策研修会を入れたり、現状を見ながらの実施を目指していきたいと思っています

仲田会長：竹崎先生、特に新人の研修会、医療を始めた人たちが悩みを抱えてやめてしまおうかと思ひ詰める人もいる中で何か一言お願いします。

竹崎委員：受講生はやっぱり自分1人が悩んでいると思っていたのが、他の地域の人も一緒だったと共有できたのがよかったと言ってくれています。医師会のバックアップ等があつたりサポートしてくれているということ伝えていくことが定着化には必要ではないかと共に学ばせていただきました。

仲田会長：新人の面倒を見てくれる研修があるということが本当にありがたい。保健所から総括的に一言お願ひ

します。

平田課長：コロナも落ち着き少し楽になったかと思うのですが、これだけされているんだと思ってすごく驚いています。1年たってすごいボリュームで、WEBだけでなく研修をされたりして感心しています。コロナ対応をしていてすごく思ったのが、平時からこういった連携を関係者の中でとっているから新興感染症の時に生きてくるんだなと感じています。薬剤師さんも走って配達してくれましたし、病診連携で先生方にも往診をして頂いて、病院の看護師長さんたちにも毎日電話するような状況でお世話になりました。感謝申し上げます。この連携は本当に財産になると思うので来年も引き続きよろしく願いいたします。

(2) 次年度に向けての課題と方向性について

仲田会長：では(2)の次年度に向けた方向性と課題についてお願いします。

事務局：次年度につきましてはACPについての情報をまだまだ知らないという結果もありましたので、引き続き普及啓発に努めてまいりたいと考えています。加えてラインワークスも含めたケアキャビネットの活用についても発展的に使えるためのご意見をいただければと考えております。

仲田会長：今年度と同じようなことをさらに進めていきたいということでしたが皆さんご意見はございませんか。ケアキャビネットはカルテになるという発想は皆様ございませんか。それぞれの人の個人カルテが出来上がるとそういった視点でみられたことはありませんか。介護施設でリハビリをするとその評価のために点数で表示しなさいといった指示が出てきているという話を聞きましたが、MMS Eとかダスク21等定期的に点数を入れていくシステムも入っているんですけど、それぞれの人に対するシートを作り体温とか血圧とかを経時的に貼り付けたりできます。個人情報、保険証情報も入ってきます。実際に使ってみてどうだったか感想も聞かせていただきたい。

鶴見副会長：ケアキャビネットを使っている人が少ないという現実があり、それがどういうところに原因があるのか反省をして、来年度それをはっきりさせて他のシステムに移るのかどうかという話にしないといけないかと思えます。

野村委員：ケアキャビネットの情報交換を行ったという一文があるが、これは参考になるというものがあつたのか。

事務局：主にはシステム移行についての内容。近隣の新見市は来年度ケアキャビネット1つで考えるとのこと。新見は医療機関、介護施設の連携がこのケアキャビネットでスムーズにできているという情報はあります。

仲田会長：同意書の取り方に躓いた感じがあります。

西副会長：来年度はどうするのですか。

仲田会長：両方使うんですね。

事務局：併用しながら検証していきたいと考えています。

仲田会長：では今日の協議事項はこれで終わらせていただきます。

5. その他

事務局：その他に移りますが、何かございませんか。

西副会長：これ（ACPのチラシ）は医療機関にももらえるのか。

事務局：地域包括支援センターに言っていただければ必要部数お渡しさせていただきます。

では閉会に移ります。閉会にあたりまして西副会長ご挨拶をお願いします。

西副会長：皆様本日は遅い時間に集まっただきありがとうございます。1年間表面にあまり表れていないながらも各部署で非常に活発な活動がなされていました。本当にご苦労様でしたとしか言いようがないのですが、今後はツールを使ってうまく連携ができるかということも一つの大きな問題になってくることが認識できました。市民公開講座の参考資料で寒い、暗いといっぱい書いてありましたが、改良できる点があれば対応で

きればと考えました。結果報告ということですが、我々にとっても役に立った内容でした。皆様本日はお集まりいただきまして本当にありがとうございました。

事務局：以上を持ちまして令和4年度第2回高梁市在宅医療・介護連携推進協議会を終了いたします。皆様ありがとうございました。